

事業所名 多機能事業所 つむぎの家

支援プログラム

作成日 7年 3月 1日

| | | | |
|-----------|---|--|---|
| 法人（事業所）理念 | ・健康で幸福な生活を目指し、その実現のために利用者の最善の利益を優先する支援を目指す。 | | |
| 支援方針 | ・利用者が楽しく有意義な時間を過ごせるよう環境整備や支援内容の充実に努めます。 ・身体や心を動かす全人的な活動を通し、心豊かな触れ合いを実現するよう支援します。 | | |
| 営業時間 | 9時00分から18時00分まで | 送迎実施の有無 | あり なし |
| 支 援 内 容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・偏食・衣服の着脱・整理整頓など基本的な生活習慣や生活スキルの獲得を支援します。 ・トイレトレーニングや挨拶、創作活動など、利用者の興味や関心を大切にした支援を行います。 ・怪我や感染等に十分配慮し、利用者が安心してつむぎの家で生活していただけるように支援します。 | |
| | 運動・感覚 | ・ムーブメントやリズム運動を取り入れ、利用者が楽しく能動的な活動に取り組めるような支援内容を提供します。 ・身体の拘縮を防ぐために定期的な運動や、マッサージ師によるマッサージを提供します。 ・バランスボール等を使った体幹トレーニングや感覚刺激活動による感覚統合を意識した活動を提供します。 | |
| | 認知・行動 | ・動作模倣、音声模倣、微細運動、粗大運動など組み合わせ、言葉や身体・知的、認知機能の発達を支援します。 ・時間の構造化や空間の構造化を図ることで、利用者が自らの判断で行動できるよう自立を支援します。 ・色の識別や時間、大小等の認知や行動の手掛かりとなる概念形成の支援をします。 | |
| | 言語 コミュニケーション | ・PECS、トピック、読み聞かせなど利用者の実態に合せ支援内容を提供します。 ・個別支援と集団活動の両面からコミュニケーション能力の伸長を支援します。 | |
| | 人間関係 社会性 | ・共同注視や三項関係をベースにことばの発達を促しながら人とのつながりを大切にする活動を支援します。 ・個別活動と集団生活のそれぞれの活動の意義を認識し、社会性を育み人間関係が豊かになるよう支援します。 ・遊び活動を中心に利用児が交友関係を築いていけるように支援します。 | |
| 家族支援 | ・家族の意向や抱えている問題等を定期的に相談する機会を設ける。 | 移行支援 | ・相談支援事業所や学校関係、他の事業所との情報交換を行い、より良い支援の実現を目指します。 |
| 地域支援・地域連携 | ・相談支援事業所や学校関係、他の事業所との情報交換を行い、より良い支援の実現を目指します。 | 職員の質の向上 | ・療育専門部会を設立し研修を通して職員の資質向上に努めます |
| 主な行事等 | ・月毎に季節にちなんだ工作活動や壁面作成を行っています。 ・天気の良い日は散歩に出かけたり、日向ぼっこを実施しています。 | | |